

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年4月14日～4月20日)

2020年4月22日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、医療従事者に対する奨励に関する大統領決定を署名(4/16)

●習近平・中国国家主席、ルカシェンコ大統領にベラルーシでの新型コロナウイルス感染拡大を受け見舞電を送付(4/15)

●国際通貨基金、2020年ベラルーシGDP成長率、-6%と予測。

【ルカシェンコ大統領動静】

●パスハ(ロシア正教復活祭)のためミンスク州マリー・リャディ地区の教会を訪問
(4/19 大統領府公式ホームページ)

●グロドノ州リダ地区を訪問し、ガラス工場「ネマン」を視察。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・現状、企業内の従業員の活動を維持することが極めて重要である。各州知事が同支援を必要な企業に割り当てられるよう共和国予算から各州に対し財務支援を行う。来週、企業支援に向けた経済対策が議論される。

・製造が停止しないよう経済に注目すべきである。肺炎は去るが、パンは必要であり、農業は重要である。

・「ネマン」で製造されるガラスウールの需要は大きく、輸入代替が可能である。そのため、私は、工場拡張の許可を下した。本工場で製造されているものは、国内だけでなく、海外市場でも需要がある。

(4/17 大統領府公式ホームページ)

●医療従事者に対する奨励に関する大統領決定を署名(4/16)

同決定により、医療従事者に対する新型コロナウイルス感染症に関連した作業に対する追加給与の付与が規定された。

(4/16 大統領公式ホームページ)

●薬物、収賄犯罪者に対する恩赦に関する会議を実施(4/16)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・最高裁判所は、恩赦法を用意したが、これは独ソ戦勝75周年の前に、国家が有罪判決を受けた人々に対し示す人道主義の行動である。

・本法律には、恩赦の対象となり得る人々の定義に関する私の考えが反映されている。恩赦対象は、組織メンバーとして麻薬を拡散した未成年、収賄犯罪者であり、これらのカテゴリーに属する犯罪者に対する1年の刑期短縮措置を提起している。

・オレグ・チュプリス大統領府副長官に懲役期間短縮対象となる得る収賄犯罪者の一覧作成を要請する。

・薬物犯罪において未成年の犯罪者は少なくない。彼らに対する責任は、大人にもある。親、教師が子供たちを見守っていなかった。そして、国家システムによる予防措置が不足していたことも言うまでもない。

・しかし、根っからの麻薬売人に対する寛容は不要である。今回の恩赦は、社会や国家に危険をもたらすことのない人々に対するものである。

・新型コロナウイルス感染拡大を背景として衛生措置は、悪い習慣を持つ人々にとって良い教訓である。

(4/16 大統領府公式ホームページ)

【外交】

●中国地方都市によるベラルーシへの人道支援が到着。

人道支援に含まれるのは、即時検査キットやレスピレーター、医療マスク、酸素濃縮器、医療防護服、保護ゴーグル、赤外線体温計、使い捨て医療用手袋等、約32トンの貨物である。人道支援を行ったのは、甘肅省、湖北省、河南省、湖南省、広東省、山東省、江蘇

省、重慶市、天津市、上海市といった、ベラルーシ地方都市と姉妹都市の関係にある地方都市である。

(4/17 ベルタ通信)

●中国企業のベラルーシ支援総額が1.6百万ドルを超える。

崔駐ベラルーシ・中国大使は「ベラルーシは、中国で新型コロナウイルス感染が拡大した際、中国に対し精神的、物質的支援を行った。ベラルーシによる誠意ある支援は、中国国民の記憶に永遠に残るであろう。在ベラルーシ中国企業は、ベラルーシ側に医療品の無償提供を行っており、4月15日時点で総額1.64百万ドルとなる。」

(4/16 ベルタ通信)

●ベラルーシ、中国から新型コロナウイルス感染対策第二回人道支援として、検査キット10700個を受領。

(4/15 ベルタ通信)

●習近平・中国国家主席、ルカシェンコ大統領にベラルーシでの新型コロナウイルス感染拡大を受け見舞電を送付

見舞電の概要は以下の通り。

・新型コロナウイルス発生以降、中国とベラルーシは相互に支援し、助け合っており、これは両国の友好を示している。中国政府は、ベラルーシ政府の新型コロナウイルスに対する努力を支持し、ベラルーシ側への支援を継続する。

・ウイルスに国境はなく、人類にとって共通の敵である。国際社会は、全人類のための統一の運命共同体という基本理念を堅持し、団結と協力を強化し、新型コロナウイルスとの闘いと、全世界の社会健康分野における安全保障のため、力を合わせる必要がある。

・私は、中国とベラルーシの関係発展を重視しており、両国および両国民のため健康分野、その他分野における二国間協力の強化に向け、貴大統領とともに尽力していく用意がある。

(4/15 Tut.by通信)

経済

●EBRD、ベラルーシにおけるインフレの加速を予測

EBRDは、3月の年換算インフレ率が4.9%であり、前月対比0.5%上昇したことを指摘し、ベラルーシ・ルーブルの下落を背景に直近数ヶ月でインフレが加速すると予測している、と発表した。

(4/20 ベラパン通信)

●2020年1月～3月、ミンスク市の工業生産高、昨年同期対比2.4%増加。

(4/17 ベラパン通信)

●新型コロナウイルス感染拡大による国内事業者への経済支援。

ヤロシェビッチ経済省次官の同支援に関する発言概要は以下の通り。

・経済支援には、新型コロナウイルス感染による影響を受けた業種に特定されている。具体的には、旅行・観光業、食品以外の小売業、外食産業、教育事業、輸送業、不動産業等であり、個人事業主含め全ての事業形態が支援対象となる。

・支援内容は、納税の繰り延べ・分割、家賃の支払い延期、固定資産税の減税等となる。

(4/17 ベラパン通信)

●2020年1～3月、ベラルーシの貨物輸送量、昨年同期対比、10.5%減少。

(4/17 ベラパン通信)

●国営企業従業員給与の増加、一時的に生産性増加との関連性を解除。

2014年7月31日付閣僚会議第744号の「国営企業従業員給与の増加は生産性増加を条件とする」という規定が、2020年4月16日付閣僚会議第234号により同年12月31日まで一時的に解除された。

(4/17 ベラパン通信)

●2020年1月～3月、ベラルーシのGDP成長率、昨年同期対比、0.3%減少。

(4/16 ベラパン通信)

●2020年2月, ベラルーシのエネルギー輸出量, 1月対比, 3分の1に減少。

(4/16 ベラパン通信)

●2020年1月~3月, ベラルーシ農業生産高, 28億9580万ベラルーシ・ルーブルと, 昨年同期対比 5.5%増加。

(4/15 ベラパン通信)

●2020年1月~2月, ベラルーシ実質家計収入, 昨年同期対比 7.1%増加。

(4/15 ベラパン通信)

●オストロヴェツ原発, 第一エネルギー部門における原子炉設置における最大の試運転完了。

本試験の目的は, 発電前にシステムと装置の適合の確認であり, 2019年12月11日より242回に亘り行われてきた。

(4/14 ベラパン通信)

●国際通貨基金, 2020年ベラルーシ GDP 成長率, -6%と予測。

(4/14 ベラパン通信)

内政・軍事

●ベラルーシ, 4月20日より学校授業を再開。

(4/20 ベラパン通信)

(了)

●2020年1月~3月, ミンスク市公共交通機関の乗客数, 昨年対減少。

2020年1月~3月, ミンスク市におけるバス乗客数は7850万人と昨年同期対比 2.4%減少, 地下鉄乗客数は1億1910万人と昨年同期対比 3.4%減少であった。

(4/17 ベラパン通信)